

「深浦マグロ丼」 学生や職員舌鼓

堂で食まで 1日200食限定
弘ぎょう

弘前大学生協食堂

「文京食堂Hores

」で4日から、天然

深浦マグロを使ったマ

グロ丼の提供が始まっ

た。1日限定200

食、5日までの特別提

供で、初日は多くの学

生、教職員が本県のグ

ルメに舌鼓を打った。

弘大と深浦町は5
月、サーモン養殖事業



深浦マグロのマグロ丼を味わう学生たち

食べられるとあって、
提供開始時刻には学生
や教職員たちが列をつ
くった。

教育学部4年の平早
桂さん(1)は「テスト
が終わって、打ち上げ
にマグロ丼を食べにき
た。まさか学食で食べ
られると思ってなく
て、とてもおいしくて
幸せ」と笑顔で話した。

堀内代表取締役は
「ちょうど、このマグ
ロが捕れた次の日に県
から漁獲規制の最終警
報が出た。マグロ丼を
通じて資源管理に興味
を持ってもらえれば」
と話した。

マグロ丼の提供は5
日までで、午前11時か
ら。一般市民の食事も
可。(成田真矢)

推進をはじめ、地元1
次産品の付加価値向上
に向けて包括協定を締
結。今回、締結を機に
深浦マグロ丼の提供が
実現した。

同町のあおもり海山

(堀内精二代表取締
役)の協力で、7月28
日に水揚げし冷蔵保存
していたクロマグロで
マグロ丼を提供。通常
価格は1000円以上
だが、700円程度で